

# 商いの新しいものさし

(株)商い創造研究所

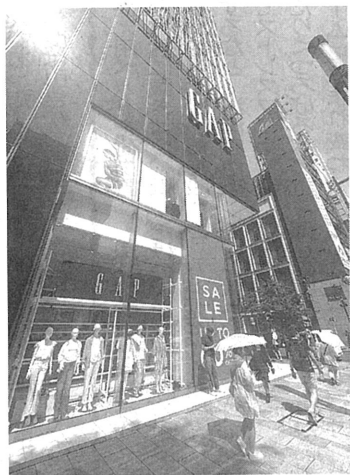
代表取締役

## 松本 大地

第152回

### 銀座とニューヨーク5番街の比較

「フェンダー フラッグシップ トウキョウ」が、6月末に東京・原宿の竹下通りと交差する明治通りにオープンした。楽器ブランド、フェンダーの世界初の旗艦店として、原宿エリアの新たなランドマークと期待される。



「旗艦」とは元は海軍用語であり、部隊の中心

となる司令官が乗る旗艦を掲げた船のこと。チェーン店を展開する小売業では、代表的な店を旗艦に見立てたことからフラッグシップストアと呼ばれる。人通りの多い街路にある旗艦店では高額な家賃による多額のコストがかかるが、ニューヨークやパリ、ロンドン、東京、ベルリン、ローマ、バル

旗艦店として銀座で光を放ったGAP

セロナ、上海などの世界の主要都市では、ブランドのフルラインを揃え、かつブランドの世界観を体感できる情報発信力も含めた戦略核店舗として存在する。米国最大都市であるニューヨーク。ミッドタウンの59ストリートから49ストリートまでの5番街(フィフス・アベニュー)は、百貨店や高級ファッションブランド店などの旗艦店が立ち並び、世界を代表するショッピングストリートである。セントラルパークに近い場所では「プラザホテル」

「アップルストア」から始まり、1899年創業で世界の一流品が並ぶ超高級デパート「バーグドルフ・グッドマン」や映画のタイトルにもなった「ティファニー」「ルイ・ヴィトン」「プラダ」「グッチ」「アルマーニ」「ハリ・ウィンストン」「コーチ」「ナイキ」といったヨーロッパ系ラグジュアリーや米国発のブランドが連続する。さらに「ZARA」「H&M」「ユニクロ」といったグローバル展開するカジュアルブランドも軒を連ね、ニューヨークの定番デパートである「サックス・フィフス・アベニュー」までは、世界で最も賃借価格の高い通りと格付けされている。

だが、GAPの旗艦店は2018年に閉店した。「ラルフローレン」、「カルバン・クライン」も旗艦店をクローズし、100年以上の歴史を誇る老舗百貨店の「ロード・アンド・テイラー」も閉店するなど、時代とともに旗艦店の入れ替えも続く。東京・銀座も世界の著名ブランドが日本展開での旗艦店を構え、銀座4丁目交差点を中軸にした中央通り、数寄屋橋から銀座4丁目までの晴海通りにはラグジュアリーブランドやバッグ、ジュエリーの大型店が目立つ。一方、晴海通りのGAP旗艦店が7月末で閉店するなど、世界に展開したカジュアルブランドのGAPは、一等地に旗艦店を構える戦略は効果的なマーケティング・ツールではないと判断したのだらう。

今、銀座の中でも晴海通りと交差する西並木通り5丁目目に熱い視線が送られている。旗艦店という大きさではないが、「カルティエ」「ボネヴェッキオ」「ヴェルサーチ」「ロエベ」「ロレックス」「オメガ」といったファッション、ジュエリー、時計など大人の嗜好や趣味に合った店舗が並ぶ。そこに「銀座テラー」や老舗レストラン「三笠会館」などの飲食店、「空也」といった食物販が融合し、銀座らしいこだわりの店並みが連続する。

西並木通りが心地よく遊歩できるのは、通りに並木が整備されていることだけでなく、車道を2車線から一車線にして歩道を広げたこと。今や銀座という言葉は西並木通りにこそふさわしい。以前、銀座西並木通り会メンバーと米国・オレゴン州のポートランド視察をした。全員の銀座愛は強く、守るべきところは守るが、時代とともに変えていく進取の気性も持ち合わせていた。さて、5番街と銀座エリアを比べてみると、銀座エリアに足りないのは「余白」ではないだろうか。5番街はショッピングだけでなく、ロックフェラーセンターのアロムナードやセント・パトリック大聖堂、おしゃれなカフェ、また42ストリートにはニューヨーク市立図書館、フライアント・パークといった休息できる場所がたくさんある。銀座に必要なのは、広場ベンチ、グリーン、カフェ、書店といったショッピング以外の潤滑油。それが少ないのが残念ではない。

銀座がもっと人の五感を心地よくさせてくれる街路になれば、旗艦店や百貨店はさらに輝くはずだ。銀座はショッピングだけでなく、エリア全体の洗練された価値があってこそ、銀座ブランドが育つと思う。